

日本のコンサルティング業界のビジネスリーダー特集 2024

和田千弘

日本のコンサルティングの最前線でビジョナリーな道筋を示すリーダー



日本のコンサルティング業界の展望は進化しつつあり、トップリーダーシップの役割の重要性が高まっています。市場が変貌していく中、企業のリーダーは伝統的なアプローチから先進的な戦略への移行を巧みにナビゲートしなければなりません。複雑な事業環境において企業を導くために、リーダーに多様な専門知識が求められることから、包括的なITパートナーへの需要が高まっています。どの領域においても、業界の未来を形作り、業界をリードするためのソリューションを効果的に活用するためには、トップリーダーシップの戦略的なビジョンと革新的な思考が不可欠です。

ゼレンホールディングスのグループCEOである和田千弘は、進化する日本のコンサルティング業界の最前線に立っています。コンサルティング、IT、金融、小売など様々な分野で20年以上の経営経験を持つ経験豊富なリーダーであり、多くの有名企業でリーダーシップを発揮してきました。大手小売企業でIPOを成功に導き、Google、すかいらーくグループ、Uber Eatsではテクノロジー戦略の推進まで、それぞれのステージにおいて業界構造の知見を深めてきました。そうした中、経営者にとって真に包括的ITパートナーを見つけることが困難である、という確信に突き動かされて、和田氏はゼレンホールディングスを創業しています。コンサルティング、エンジニアリング、テクノロジーの分野で最先端かつ最善の解決策を提供することで、クライアント企業の経営戦略やテクノロジー戦略を包括的になめらかに支援することを目指しています。

CEO Insights Asiaによる独占インタビューにおいて、和田氏に自身のプロフェッショナルとしての独自性と、日本のコンサルティング業界におけるゼレンホールディングスのユニークな役割を聞きました。

あなたのプロフェッショナルとしての歩みを簡単に説明してください。また、あなたの日々の仕事のモチベーションは何ですか？

マッキンゼー、金融、大手事業会社でのリーダーシップなど、私のプロフェッショナルとしてのキャリアは、さまざまな経験を通じて進化してきました。大手小売企業でIPOを成功に導いたことに始まり、Google、すかいらーくグループ、Uber Eatsにおいて複雑なテクノロジー領域での変革を推し進めたことに至るまで、それぞれのステージが私に業界構造への深い理解をもたらしてくれました。私のモチベーションは、高度な戦略から詳細な現場オペレーションまで、企業をシームレスに支援する複合企業体を構築することにあります。日本企業のIT投資のROIを向上させ、世界の最先端技術へのアクセスを提供したいのです。

ゼレンホールディングスはどのような組織ですか？また市場での位置づけはどのようなものですか？

ゼレンホールディングスは、日本企業の真のパートナーであることを目指しています。継続的な買収と戦略的パートナーシップによって、多様で先進的な戦略と最先端の技術を提供する強固なコンサルティングプラットフォームの構築を目指しています。その目標は、戦略・オペレーション・テクノロジーといった各側面を貫いてROIを最大化し、ユニークな価値をクライアントに提供することです。

2023年8月に設立されたゼレンは、スタートアップの持株会社であり、現段階のスタートアップフェーズでは、業歴が長く100人から300人の従業員を持つ、収益性が高く安定した事業運営を実行している企業を連続的に買収しています。

私たちは企業を単に買収しているだけでなく、2027~2028年のIPO目標に合わせてその収益性と成長軌道を強化しています。経験豊富なプロフェッショナルと協力し、収益性の向上とグループの成長を目指しています。ゼレンはスタートアップではありますが、私がすかいらーくグループのCTO兼CMOや、Googleの事業戦略部門責任者を務めた経験などを背景として、多くの企業から高い評価を得ております。

あなたのリーダーシップの特徴は何ですか？また、グループCEOとして、効果的な企業成長戦略を策定する際に考慮するのはどのような点ですか？

私のリーダーシップの特徴は、強力なシニアマネジメントチームを構築していくチームビルディングにあります。マッキンゼーやアクセンチュアの出身者や、弁護士で構成されたリーダーチームは、インパクトのあるデジタル戦略領域へのフォーカスと相俟って、ゼレンの戦略的優位性をもたらしています。既に5名のマッキンゼー出身者が集結したチームは、スタートアップの新進コンサルティングファームでは稀であり、卓越した専門性を提供しています。

多様なレイヤー、領域からクライアントに関与しながら、経営陣の戦略構想検討の最初の段階から議論を始める。これは他のシステム開発ベンダーにはなかなか難しいアプローチです。この戦略的な洞察力によって私たちは独特なポジションに立ち、複雑な成長戦略を、戦略検討の最上流から正確にナビゲートすることが可能になっています。

業界の最新動向はどのように把握していますか？

業界のトレンドは、Googleなどかつての在籍企業との繋がりを含め、私たちの幅広いネットワークを活用して知るようにしています。すかいらくグループに在籍した後、私はトリリオンパートナーズを設立し、グローバル企業や日本のスタートアップ企業との提携を促進してきました。私の出身でもある東京大学との連携は、革新的で若いベンチャー企業との繋がりをもたらしてくれます。深い技術領域の知識はベンチャーキャピタル事業など新規事業に参入する上でも重要な要素です。さらにはユニークなプロダクトを持つ企業に投資し、コンサルティングプラットフォームとしてのポジショニングを高めることを狙っています。最も優秀な人材を集め、その人材が事業経営者やトップコンサルタントとしてのキャリアを追求し、技術の進歩の最前線に立ち続けるという、いわばプロフェッショナルの樂園を提供したいと考えています。日本のコンサルティング業界において、これは他に類を見ないのアプローチなのです。

今後の目標はなんですか？ また、これから業界をリードしていく人たちにアドバイスをお願いします。

見通せる範囲で申し上げますと、3年以内に5~10社程度を買収し、ゼレンホールディングスを日本のコンサルティング会社のトップ10に押し上げることを目指しています。戦略的な買収によるこの野心的な道筋によって私たちは、クライアントの複雑な課題を解決し、テクノロジーと戦略の架け橋となる極めて重要なプレーヤーとしての地位を確立するでしょう。

これを達成することで、私たちのブランドは確固たるものとなり、最も尊敬される企業の一つとして位置付けられ、トップタレントを引き付け、最優秀な学生やMBA取得者からの認知を得ることができるでしょう。

これから業界をリードしていこうとする方々へのアドバイスとしては、M&Aに関する知識を獲得すること、テクノロジーに関する知見を徹底的に深めること、そしてグローバルなマインドセットを取り入れることの3つです。これらが、日本の経済が成長性と効率性に向けて再び飛躍していくための不可欠な鍵なのです。

和田千弘 ゼレンホールディングス代表取締役社長グループCEO

東京大学法学部卒、マサチューセッツ工科大学（MIT）経営大学院経営学修士（MBA）。銀行・PEファームおよびマッキンゼーでの20年にわたる経験の他、インターブランド、グーグル、大手外食・小売企業でのトップマネジメントとしての成功経験まで、和田氏の歩んだ道のりはゼレンホールディングスの事業領域と戦略定義そのものであり、最先端かつ多様なソリューションアプローチで日本企業の真のテクノロジーパートナーとしての位置づけを約束するものである。

趣味： 2人の息子と一緒にボクシングと空手を練習すること

料理： フレンチと寿司

好きな本： 『両利きの経営』（チャールズ・A・オリリー、マイケル・L・タッシュマン著）

好きな旅行先： モルディブ